

第40回 皮膚脈管・膠原病研究会 プログラム・抄録集

会 期

平成 29 年 1 月 20 日（金）・21 日（土）

会 場

コラッセふくしま

会 長

山本 俊幸

（福島県立医科大学医学部皮膚科学講座 教授）

第 40 回皮膚脈管・膠原病研究会

プログラム・抄録集

会 期： 平成 2 9 年 1 月 2 0 日（金）・2 1 日（土）

会 場： コラッセふくしま
〒960-8054 福島市三河南町 1-20（福島駅西口）

会 長： 山本 俊幸

事務局： 福島県立医科大学医学部皮膚科学講座内
第 40 回皮膚脈管・膠原病研究会事務局
〒960-1295 福島県福島市光が丘 1 番地
TEL：024-547-1309 FAX：024-548-5412
E-mail：hmk40th@fmu.ac.jp
URL：<http://www.fmu.ac.jp/home/dermatol/vctd.40.fukushima.html>

ご挨拶

この度、第40回皮膚脈管・膠原病研究会を主催させていただきます、福島県立医大の山本です。大変光栄に存じます。この会は討論が非常に活発で、とくに若い皮膚科医にとって、この会で発表するのは勇気が要り、また一方では、とても勉強になる会として、毎年参加を楽しみにしてこられた先生も大勢いらっしゃると思います。最も怖い学会として長らく恐れられてきたこの会も、次回の第40回をもって単独開催は最後になります。



思えば、私が初めてこの会に出席したのは、皮膚科医になって3年目で、当時群馬県の病院で研修医として働いていました。その頃この会は、六本木にある国際会館というところが毎年会場で、平日の木金に開催されていました。何も知らなかった自分は、平日病院を休んで堂々と六本木に行けるというだけの理由で、勇んで演題を出しました。ノコノコ六本木にやってきた私は、どうせ平日の昼間なんかガラガラだろうと思って会場のドアを開けた途端、その人数と熱気に圧倒されました。素人の自分でも、そのただならぬ雰囲気はすぐに感じ取れました。席は前の方に少し空いているだけで、周りはどこかの偉い方たちばかりでした。やっとの思いで発表を終えると、すぐさま質問の手がいくつも挙がりましたが、一つもまともに答えられませんでした。その後、自分がこの分野に深く関わってくるとは全く思いませんでした。恐らく同じような経験をした(当時)若い医師は大勢いるものと思われます。

今後本研究会は、皮膚アレルギー学会に吸収・統合される形で発展的解消を遂げるようです。膠原病と比較すると、皮膚血管炎の方は、最近の Chapel-Hill 分類と皮膚血管炎の関係、皮膚血管炎の頻度の少なさや特殊性からその位置づけをどうするか、病理学的な要素の大きいことによる若い皮膚科医の興味離れ、また長らくこの分野をリードしてこられた先生方の世代交代、といったいくつかの問題もあり、今後どうしたらよいのか真剣に考える必要があります。

昨今、我々を取り巻く状況も大きく変わりました。製薬協からの制限に縛られることも多く、なんでも無条件に協力してくれることはなくなりました。皮膚科は学会が多いですが、このような魅力的な会がなくなり、しばらくしたらまたこういう会を希望する声広がってくるかもしれません。どんな形にせよ、やはり参加者が面白かったと思うような会でないとダメだと思います。折角先達が道しるべを作ってくれたものを、後に続く我々が受け継がなくては、という気もします。最後にふさわしく盛り上がる会にできるよう、教室員一同努力して参ります。ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

第40回皮膚脈管・膠原病研究会
会長 山本 俊幸

開催概要

- 研究会名称 第 40 回皮膚脈管・膠原病研究会
- 主 催 福島県立医科大学医学部皮膚科学講座
- 会 長 山本 俊幸（福島県立医科大学医学部皮膚科 教授）
- 会 期 平成 29 年 1 月 20 日（金）～21 日（土）
- 会 場 コラッセふくしま 4 階 多目的ホール
〒960-8054 福島市三河南町 1-20
TEL：024-525-4089
<http://www.corasse.com/>
- 事 務 局 福島県立医科大学医学部皮膚科学講座内
第 40 回 皮膚脈管・膠原病研究会事務局
事務局長 佐藤 正隆
〒960-1295 福島県福島市光が丘 1 番地
TEL：024-547-1309 FAX：024-548-5412
E-mail：hmk40th@fmu.ac.jp
URL：<http://www.fmu.ac.jp/home/dermatol/vctd.40.fukushima.html>

会場のご案内

交通案内

● 新幹線をご利用の場合

JR 福島駅（東北新幹線、東北本線、奥羽本線）西口より徒歩 3 分

● 仙台空港をご利用の場合

仙台空港アクセス線で仙台駅へ（20－25 分）。その後東北新幹線で JR 福島駅へ

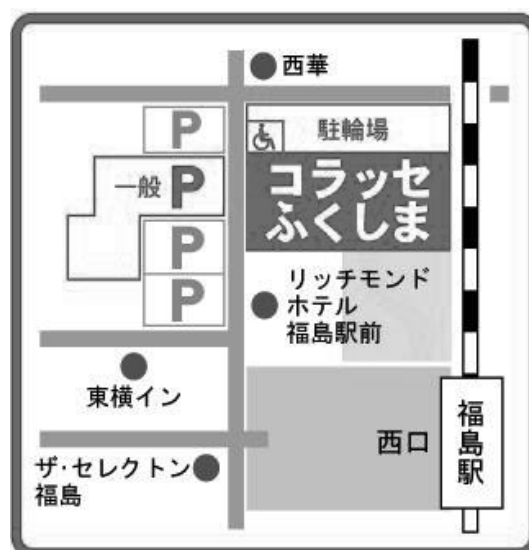
● 福島空港をご利用の場合

リムジンバスで郡山駅へ（約 40 分）、その後東北新幹線で JR 福島駅へ

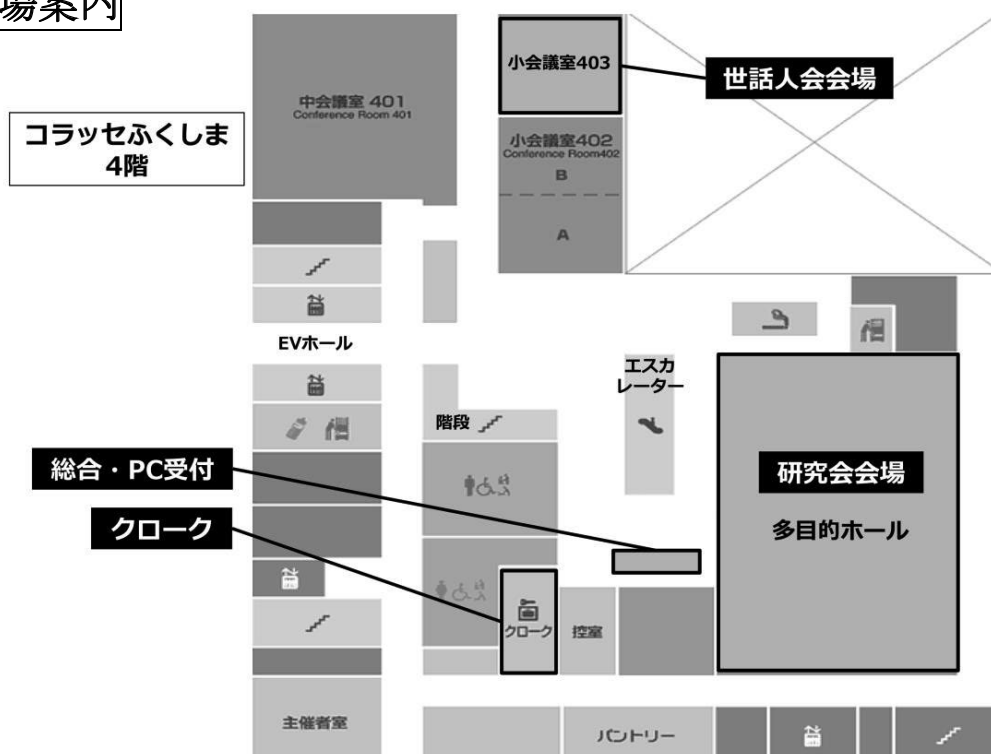
乗合タクシーで JR 福島駅へ（福島空港 HP をご覧ください）

● 東北自動車道をご利用の場合

福島西 IC、飯坂 IC から車で約 15 分。コラッセふくしま有料駐車場利用可（30 分まで無料、以降 30 分毎 100 円※共通駐車サービス券が使用可能）。近隣に有料駐車場（民間）あり（30 分 100 円～150 円）。



会場案内



参加者へのお知らせ

総合受付

場 所： コラッセふくしま 4 階多目的ホール前
日 時： 1 月 2 0 日（金） 8：30～18：00
1 月 2 1 日（土） 8：30～16：00

参加費

当日参加費 5,000 円

参加費と引き換えに領収書兼用の参加証をお渡しいたします。

参加証には氏名・所属をご記入の上、会期中会場内では常時ご着用ください。

プログラム・抄録集

当日、受付にて一部 1,000 円で販売いたします。

数に限りがございますので、事前に送付されている方は必ずご持参ください。

懇親会

日 時： 1 月 2 0 日（金） 20：00～21：30
会 場： コラッセふくしま 1 2 階 展望レストラン『Ki-ichigo（きいちご）』
参加費： 無料

クローク

コラッセふくしま 4 階のクロークをご利用ください。なお、現金・貴重品・PC・傘はお預かりできません。また、日付をまたいでのお預かりもできません。必ずクローク終了時間までにお荷物をお引き取りください（懇親会の前に、お荷物をお引き取りの上、12 階 Ki-ichigo にご移動ください）。

開設時間： 1 月 2 0 日（金） 8：30～20：30
1 月 2 1 日（土） 8：30～18：30

世話人会

世話人会を下記の要領で開催いたしますので、関係者の皆様はご参集ください。

日 時： 1 月 2 0 日（金） 19：35～19：55
会 場： コラッセふくしま 4 階 小会議室 403

皮膚科専門医の皆様へ

本研究会は 6 単位の後実績受講証が交付されます。受付に必要事項をご記入いただき、受講証をお受け取りください。

発表者・座長の先生方へのお知らせ

発表データ受付について

- 発表データの登録・試写は、会場前ロビーで1月20日（金）、21日（土）ともに8:30～開始いたします。必ずご発表の1時間前（演題1～4までの演者は20分前）までにお済ませください。

発表について

- 一般演題の発表時間は6分間、質疑応答は4分間、合計10分間です。円滑な進行のため時間厳守をお願いいたします。
- 口演発表は全てPCプレゼンテーションでのご発表となります（スクリーンは一面）。スライド、ビデオ等での発表はできません。
- 発表演台には液晶モニタ・マウスを準備致します。ご発表データの一枚目をスライドショー状態でスクリーンに映写しますので、ご自身でデータの送り操作を行ってください。
- 次演者は、前の発表が始まりましたら、速やかに次演者席にご着席ください。

発表データについて

- ① 発表用データはUSBメモリに入れてご持参ください。必ず最新のウイルス駆除ソフトにてウイルスチェックをお願いいたします。
- ② 発表用データのバックアップもご用意のうえお持ちください。
- ③ 会場で使用するパソコンのOS及びアプリケーションは、Windows 8.1、Microsoft Power Point 2013 です。動画、音声には対応できません。Mac版Power Pointで作成したデータを使用する場合は、事前にWindowsファイルに変換してお持ちください。
- ④ 発表データは、会場のパソコンに一時保存させていただきますが、発表終了後、事務局側で責任を持って廃棄させていただきます。

座長の方へお願い

前のセッションの間に次座長席にお座りください。アナウンスによる座長呼び出しは行いませんので、時間になりましたら座長席にご登壇、セッションを開始してください。定刻どおりの進行をお願いいたします。

討論、追加発現される先生へ

発言者は座長の指示に従い、所属、氏名を述べてからご発言下さい。

日程表

第1日目 平成29年1月20日（金）

8:00	8:30～	受付開始	
9:00	9:00～9:05	会長挨拶	「82もの演題を頂きました」
	9:05～9:45	演題 1～4 座長 金蔵拓郎 / 沢田泰之	血管病変からスタート
10:00	9:45～10:25	演題 5～8 座長 横関博雄 / 音山和宜	例年このあたりから 議論がヒートアップしてきます
	10:25～11:05	演題 9～12 座長 佐藤貴浩 / 石黒直子	
11:00	11:05～11:45	演題 13～16 座長 藤本 亘 / 浅井俊弥	
12:00	11:55～12:55	ランチョンセミナー 1 今福信一 / 右田 清 座長 尹 浩信 / 佐野栄紀 共催 田辺三菱製薬(株)	テーマは 「乾癬およびその類縁疾患」です
13:00	13:05～14:05	演題 17～22 座長 岩月啓氏 / 新井 達	午後も引き続き血管炎
14:00	14:10～15:20	スイーツセミナー 1 川上民裕 / 陳 科榮 座長 大塚幹夫 共催 帝人ファーマ(株)	●テーマは皮膚血管炎ですが、その後の討論 の時間が十分とれなくなっていました。。。 ●福島のお菓子もご賞味あれ
15:00	15:30～16:10	演題 23～26 座長 浅田秀夫 / 寺本祐一	ここから皮膚筋炎の演題が続きます
16:00	16:10～16:50	演題 27～30 座長 古川福実 / 藤本徳毅	
	16:50～17:30	演題 31～34 座長 清島真理子 / 藤本 学	
17:00	17:30～18:10	演題 35～38 座長 岡本祐之 / 吉崎 歩	
18:00	18:10～18:30	演題 39～40 座長 水谷 仁	JA 厚生連病院より 献上桃のジュースが配布
	18:40～19:30	イブニングセミナー〔特別企画〕 神崎 保 / 西岡 清 座長 山本俊幸 / 片山一朗	本会の特別企画です これまでの本会を思い出しながら傾聴しましょう
19:00	19:35～19:55	世話人会（4階 小会議室403）	世話人以外の先生はクロークで荷物を受け取って 12F へ移動して下さい
20:00	20:00～21:30	懇親会	
21:00		（12階 KI-ICHIGO）	中々手に入らない福島の地酒を用意します

第2日目 平成29年1月21日(土)

8:00			
9:00	9:00~9:40	演題 41~44 座長 佐野栄紀 / 小寺雅也	午前中は SLE の演題がびっしり入ります
	9:40~10:20	演題 45~48 座長 石川 治 / 竹原和彦	
10:00	10:20~11:00	演題 49~52 座長 衛藤 光 / 谷川瑛子	
11:00	11:00~11:40	演題 53~56 座長 錦織千佳子 / 片山一朗	
	11:40~12:00	演題 57~58 座長 鶴田大輔	
12:00	12:10~13:10	ランチョンセミナー 2 関根英治 / 土田哲也 座長 横関博雄 / 片山一朗 共催 サノフィ(株)	ランチョンも SLE 基礎と臨床のお話を頂きます
13:00	13:15~13:25	世話人会報告	次回の皮膚アレルギー学会会頭よりご挨拶
	13:25~14:05	演題 59~62 座長 神人正寿 / 濱口儒人	午後は強皮症関連演題です
14:00	14:05~14:45	演題 63~66 座長 長谷川 稔 / 茂木精一郎	
15:00	14:50~15:35	スイーツセミナー 2 岩倉洋一郎 座長 金蔵拓郎 共催 協和発酵キリン(株)	IL-17 / 免疫について 最先端のお話が聞けます
16:00	15:40~16:20	演題 67~70 座長 浅野善英 / 山口由衣	
	16:20~17:00	演題 71~74 座長 大槻マミ太郎 / 池田高治	RA / シェーグレン / その他の演題が並びます
17:00	17:00~17:40	演題 75~78 座長 佐々木哲雄 / 山本雄一	
	17:40~18:20	演題 79~82 座長 簀持 淳 / 濱崎洋一郎	お疲れ様でした

プログラム 【1日目】 1月20日（金）

開会の辞 9:00～9:05

会長 山本 俊幸 （福島県立医科大学）

■9:05～9:45

座長 金蔵 拓郎 鹿児島大学
沢田 泰之 東京都立墨東病院

- 1 血小板減少を呈し電子線照射療法で改善した頭部脈管肉腫の1例
菅野 みゆき 宮崎大学
- 2 リンパ節転移、胸膜転移にパゾパニブが有効であった再発性頭部血管肉腫の1例
菅野 百加 奈良県立医科大学
- 3 従来 Venous Racemous Hemangioma (VRH) と呼称されていた Venous Malformation (VM) と、術前に鑑別のつかなかった Plaque-Type の Glomuvenous Malformation (GVM)
倉持 朗 埼玉医科大学
- 4 シヤント肢示指に生じた腫脹浮腫と潰瘍性病変—Acroangiodermatitis か
石川 貴裕 防衛医科大学校

■9:45～10:25

座長 横関 博雄 東京医科歯科大学
音山 和宜 音山医院

- 5 胆石総胆管炎治療により改善したプロテイン S 異常症合併下腿潰瘍
角 希里子 都立墨東病院
- 6 透析患者に生じた難治性下腿潰瘍の1例
國見 侑花 福岡大学
- 7 IgG4 関連疾患患者に生じた下腿潰瘍の1例
橋川 恵子 久留米大学
- 8 扁桃摘出後にアナフィラクトイド紫斑が出現した IgA 腎症の1例
大矢 和正 水戸協同病院

■10:25～11:05

座長 佐藤 貴浩 防衛医科大学校
石黒 直子 東京女子医科大学

- 9 皮膚動脈炎（皮膚型結節性多発動脈炎）の加療中に IgA 血管炎 (Henoch-Schölein 紫斑病) を生じた1例

- 津島 綾子 東京女子医科大学
- 10 皮膚型結節性多発動脈炎について—北里大学過去10年の症例のまとめ
- 増澤 真実子 北里大学
- 11 皮膚動脈炎（皮膚型結節性多発動脈炎）難治症例における血中抗PSPT抗体と抗モエシン抗体との関係
- 川上 民裕 聖マリアンナ医科大学
- 12 左顔面腫脹を契機に診断に至った好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の1例
- 前原 志野 熊本大学

■11:05～11:45

- 座長 藤本 亘 川崎医科大学
- 浅井 俊弥 浅井皮膚科クリニック
- 13 下腿の広範囲に難治性皮膚潰瘍を呈した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の1例
- 天方 将人 埼玉医科大学総合医療センター
- 14 エンドキサンプルスが著効した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の一例
- 有馬 亜衣 奈良県立医科大学
- 15 エドキサバンで良好なコントロールを得たリベド血管症の1例
- 椎谷 千尋 KKR 札幌医療センター
- 16 多発血管炎性肉芽腫症の再燃に対しリツキシマブで寛解導入し維持中の一例
- 河村 実穂 中京病院

■11:55～12:55 ランチョンセミナー1 【共催：田辺三菱製薬株式会社】

- 座長 尹 浩信 熊本大学
- 佐野 栄紀 高知大学

『福岡大学乾癬レジストリからみる乾癬とその合併症・類縁疾患との関わりについて』

- 今福 信一 福岡大学医学部 皮膚科教授
- 『滑膜炎による関節破壊のプロセス（関節リウマチを中心に）』
- 右田 清 福島県立医科大学 リウマチ膠原病内科教授

■13:05～14:05

座長 岩月 啓氏 岡山大学
新井 達 聖路加国際病院

- 17 皮膚症状から好酸球性多発血管炎性肉芽腫症を考えた1例
平岩 朋子 福島県立医科大学
- 18 網目状の紅斑を呈した cutaneous eosinophilic vasculitis
鈴木 裕乃 浜松医科大学
- 19 Septic vasculitis と考えた1例
本多 皓 福島県立医科大学
- 20 高安動脈炎に伴ったバザン硬結性紅斑の1例
加太 美保 滋賀医科大学
- 21 SLEに伴う壊死性血管炎の2例
加藤 保信 福島県立医科大学
- 22 MPO-ANCA 関連血管炎患者 55 例における皮膚症状の臨床病理学的検討 -第2報-
堺 則康 東京医大

■14:10～15:20 スーツセミナー1 【共催：帝人ファーマ株式会社】

座長 大塚 幹夫 福島県立医科大学

『皮膚血管炎での様々な問題点』

川上 民裕 聖マリアンナ医科大学 皮膚科准教授

『2012 revised CHCC の評価及び皮膚血管炎の診断と治療の展望について』

陳 科榮 目黒陳皮膚科クリニック 院長

■15:30～16:10

座長 浅田 秀夫 奈良県立医科大学
寺木 祐一 埼玉医科大学総合医療センター

- 23 組織学的に血管炎を伴った皮膚筋炎の1例
野元 裕輔 鹿児島大学
- 24 男性の皮膚筋炎2例
角田 孝彦 山形市立病院済生館
- 25 Blaschko 線に沿って線状の皮疹で発症した若年性皮膚筋炎の長期経過

林 宏明 川崎医科大学

- 26 縦隔気腫を合併した間質性肺炎を伴う Amyopathic Dermatomyositis の1例

東山 文香 三重大学

■16:10～16:50

座長 古川 福実 和歌山県立医科大学

藤本 徳毅 滋賀医科大学

- 27 CK 上昇に伴い転移巣の増大を認めた胃癌合併皮膚筋炎の一例

大浪 宏介 山形大学

- 28 嚥下障害を認めた皮膚筋炎の1例

齊藤 亨 山形大学

- 29 シリコンバッグの関与が疑われ、全身の浮腫と重度の嚥下障害を伴った治療抵抗性皮膚筋炎の1例

高田 洋子 大阪大学

- 30 免疫グロブリン静注療法とバルーン拡張術が高度な嚥下障害に有効であった皮膚筋炎の1例

宇都宮 慧 福井大学

■16:50～17:30

座長 清島 真理子 岐阜大学

藤本 学 筑波大学

- 31 診断に難渋した抗 MDA-5 抗体陽性の皮膚筋炎の1例

宮城 拓也 琉球大

- 32 長期の経過を経て間質性肺炎が慢性から亜急性に進行した抗 MDA5 抗体陽性皮膚筋炎の1例

澤田 香織 金沢大学

- 33 群馬大学皮膚科における抗 MDA 5 抗体陽性皮膚筋炎患者の臨床的検討

石渕 裕久 群馬大学

- 34 皮膚筋炎の ARS 抗体陽性群と陰性群の臨床的特徴の比較

深松 紘子 岡山大学

プログラム 【1日目】 1月20日（金）

■17:30～18:10

座長 岡本 祐之 関西医科大学
吉崎 歩 東京大学

- 35 抗ARS抗体症候群に合併した Morbihan disease の1例
藤本 徳毅 滋賀医科大学
- 36 抗Mi-2抗体陽性であった皮膚筋炎の4例
松田 智子 関西医科大学附属病院
- 37 発症6年後に胃癌が見つかった抗TIF1 γ 抗体陽性皮膚筋炎の1例
周 円 岐阜大学
- 38 皮膚筋炎における抗TIF1 γ 抗体および抗Mi-2抗体のELISA検査試薬の有用性に関する検討
藤本 学 筑波大学

■18:10～18:30

座長 水谷 仁 三重大学

- 39 筋力低下が遷延し治療に難渋した抗MJ抗体陽性の皮膚筋炎
山本 真有子 高知大学
- 40 アトルバスタチン内服中に発症しジアフェニルスルホン（DDS）が奏効した皮膚筋炎の1例
河原 由恵 けいゆう病院

■18:40～19:30 イブニングセミナー

座長 片山 一朗 大阪大学
山本 俊幸 福島県立医科大学

『膠原病研究会の、今までとこれから』

神崎 保 鹿児島大学 名誉教授

『皮膚脈管膠原病研究会の存在意義を考える』

西岡 清 東京医科歯科大学 名誉教授

プログラム 【1日目】 1月20日（金）

■19:35～19:55 世話人会 4階 小会議室 403

懇親会	20:00～21:30	12階	ki-ichigo
-----	-------------	-----	-----------

プログラム 【2日目】 1月21日(土)

■9:00～9:40

座長 佐野 栄紀 高知大学
小寺 雅也 中京病院

- 41 ワクチン接種後に紅斑が増強した新生児エリテマトーデスの1例
石川 真郷 福島県立医科大学
- 42 高齢男性に発症した SLE の1例
山内 瑛 獨協医科大学
- 43 高齢発症全身性エリテマトーデス+シェーグレン症候群の2例
高橋 一夫 藤沢市民病院
- 44 薬剤誘発性ループスの1例
影下 雄一 熊本大学

■9:40～10:20

座長 石川 治 群馬大学
竹原 和彦 金沢大学

- 45 全身性エリテマトーデス患者に生じた播種性ノカルジア症の1例
指宿 敦子 鹿児島大学
- 46 全身性エリテマトーデス患者に生じた non-bullous neutrophilic dermatosis の一例
岸 史子 群馬大学
- 47 膠原線維アタック型反応？を有する紅斑を生じた SLE の1例：続報
加納 宏行 岐阜大学
- 48 全身性エリテマトーデスに伴う好中球性皮膚症
佐藤 正隆 福島県立医科大学

■10:20～11:00

座長 衛藤 光 聖路加国際病院
谷川 瑛子 慶應義塾大学

- 49 当科エリテマトーデス 25 例におけるヒドロキシクロロキン(HCQ)使用例の臨床的検討
津村 協子 聖路加国際病院
- 50 治療に難渋し lupus mastitis を発症したのちプラケニル内服で維持している深在性エリテマトーデス

藤本 亘 川崎医科大学

- 51 ヒドロキシクロロキンが DLE の脱毛に著効した 1 例

猪狩 翔平 福島県立医科大学

- 52 ハイドロキシクロロキン内服中に原病による右同名半盲を生じた neuropsychiatric SLE (NPSLE) の 1 例

岸部 麻里 旭川医科大学

■11:00～11:40

座長 錦織 千佳子 神戸大学

片山 一朗 大阪大学

- 53 ヒドロキシクロロキン投与により蕁麻疹様紅斑が誘発された widespread DLE の 1 例

山本 美友貴 福島県立医科大学

- 54 ヒドロキシクロロキンの減感作により内服再開が可能となった DLE の 1 例

木谷 美湖野 神戸大学

- 55 頬部の陥凹病変に対し脂肪移植を行ったループス脂肪織炎の 2 例

池田 智行 金沢大学

- 56 ヒドロキシクロロキン内服治療が著効後に生じた局所陥凹病変に対し、自家脂肪注入を試みた深在性エリテマトーデスの 1 例

筋野 和代 慶應義塾大学

■11:40～12:00

座長 鶴田 大輔 大阪市立大学

- 57 蛋白漏出性胃腸症を合併した全身性エリトマトーデスの 1 例

大井 梨紗子 中京病院

- 58 全身性強皮症患者に生じた ulcerative lupus profundus の 1 例

森 龍彦 福島県立医科大学

プログラム 【2日目】 1月21日(土)

■12:10～13:10 ランチョンセミナー2 【共催：サノフィ株式会社】

座長 横関 博雄 東京医科歯科大学
片山 一朗 大阪大学

『SLE と自然免疫～補体や TLR の役割を中心に～』

関根 英治 福島県立医科大学 免疫学

『エリテマトーデスの皮疹のみかた—新しい分類基準との関連で考える—』

土田 哲也 埼玉医科大学 皮膚科

■13:15～13:25 世話人会報告 多目的ホール

■13:25～14:05

座長 神人 正寿 熊本大学
濱口 儒人 金沢大学

59 強皮症に合併した巨大な異所性石灰化の1例

大久保 葵 鹿児島大学

60 強皮症に合併した頭部血管肉腫の1例

柴田 夕夏 高知大学

61 剣創状強皮症を伴った進行性顔面片側萎縮症の1例

松本 圭子 愛媛大学

62 LE profundus との鑑別を要した小児の solitary morphea profunda の1例

伊藤 崇 福島県立医科大学

■14:05～14:45

座長 長谷川 稔 福井大学
茂木 精一郎 群馬大学

63 多発性モルフェアの治療中にびまん性筋膜炎を発症した1例

後藤 和哉 京都大学

64 筋膜炎を伴う全身性強皮症患者に見られた Interstitial granulomatous dermatitis

芦田 美輪 長崎大学

プログラム 【2日目】 1月21日(土)

- 65 びまん性筋膜炎寛解後に発症した両側対称性の汎発性強皮症の1例

小林 研太 慶應大学

- 66 強皮症様の皮膚硬化を伴った慢性GVHDの2例

山岡 俊文 大阪大学

■14:50～15:35 スイーツセミナー2 【共催：協和キリン発酵株式会社】

座長 金蔵 拓郎 鹿児島大学

『炎症性疾患および免疫系の恒常性維持におけるIL-17の役割』

岩倉 洋一郎 東京理科大学生命医科学研究所
ヒト疾患モデル研究センター

■15:40～16:20

座長 浅野 善英 東京大学

山口 由衣 横浜市立大学

- 67 強皮症腎クリーゼと血栓性血小板減少症類縁疾患を合併した抗トポイソメラーゼⅠ抗体陽性の全身性強皮症の1例

小泉 遼 福井大学

- 68 抗RNAポリメラーゼⅢ抗体および抗トポイソメラーゼⅠ抗体重複陽性の全身性強皮症(dcSSc)の一例

田中義人 中京病院

- 69 琉球大学皮膚科におけるボセンタンの使用経験

大嶺 卓也 琉球大学

- 70 シクロスポリンで進行を抑制しえた間質性肺疾患を伴う全身性強皮症の2例

田中 美奈子 和歌山県立医科大学

■16:20～17:00

座長 大槻 マミ太郎 自治医科大学

池田 高治 和歌山県立医科大学

- 71 関節リウマチに伴う血管炎の1例

石橋 正史 日本鋼管病院

- 72 多彩な皮膚症状を伴い IVIG が奏功した bullous rheumatoid neutrophilic dermatosis の1例

太田 朝子 大阪大学

- 73 関節リウマチ患者に生じた塩酸ミノサイクリンによる色素沈着の1例

濱崎 洋一郎 獨協医科大学

- 74 関節リウマチに伴った肢端持続型丘疹性ムチン沈着症の1例

武藤 潤 愛知医科大学

■17:00～17:40

座長 佐々木 哲雄 品川御殿山皮膚科

山本 雄一 琉球大学

- 75 抗DNA抗体高値が持続する乾癬性関節炎の一例

池田 高治 和歌山県立医科大学

- 76 経過中に鞍鼻をきたした再発性多発軟骨炎の1例

小松 成綱 旭川厚生病院

- 77 経過中に SLE を発症した RAS 関連自己免疫性リンパ球増殖症候群様疾患 (RALD) の1例

乙竹 泰 横浜市立大学附属病院

- 78 皮膚筋炎様皮疹を呈した多中心性細網組織球症の1例

中野 尚美 自治医科大学

■17:40～18:20

座長 簗持 淳 獨協医科大学

濱崎 洋一郎 獨協医科大学

- 79 当科での自主臨床試験における強皮症合併間質性肺炎に対するリツキシマブの使用経験

江畑 慧 東京大学

- 80 胸腺 MALT リンパ腫を合併した Sjögren 症候群

鹿毛 勇太 横浜市立大学

- 81 腸間膜脂肪織炎を合併したシェーグレン症候群の1例

朝倉 涼平 静岡市立清水病院

- 82 ベーチェット病の経過中に発症し、浮腫性紅斑や紫斑を呈して治療に難渋した成人 Still 病の1例

小見川 知佳 東京医科歯科大学

ランチョンセミナー

【ランチョンセミナー1】

『福岡大学乾癬レジストリからみる乾癬とその合併症・類縁疾患との関わりについて』

いまふく しんいち

今福 信一

福岡大学医学部 皮膚科 教授

〈略歴〉

1991 年 4 月 九州大学医学部卒業
1991 年 6 月 九州大学医学部附属病院皮膚科学教室医員（研修医）
1992 年 10 月 メリーランド大学医学部皮膚科学教室医員
1996 年 4 月 九州大学医学部皮膚科学教室助手
2000 年 4 月 広島赤十字・原爆病院皮膚科
2003 年 4 月 九州大学医学部皮膚科学教室助手
2005 年 4 月 北九州市立医療センター皮膚科・主任部長
2007 年 4 月 福岡大学医学部皮膚科学教室講師
2009 年 4 月 福岡大学医学部皮膚科学教室准教授
2014 年 4 月 福岡大学医学部皮膚科学教室教授 現在に至る

〈所属学会・資格〉

日本皮膚科学会西部支部代議員
日本研究皮膚科学会評議員
日本レックリングハウゼン病学会評議員
日本乾癬学会評議員
日本性感染症学会
日本皮膚悪性腫瘍学会
日本皮膚アレルギー接触皮膚炎学会

〈専門〉

皮膚科領域のウイルス感染症（ヘルペスウイルスなど）、尋常性乾癬

【ランチョンセミナー1】

『滑膜炎による関節破壊のプロセス（関節リウマチを中心に）』

みぎた きよし

右田 清

福島県立医科大学 リウマチ膠原病内科 教授

〈略歴〉

1983年3月 長崎大学医学部 卒業
1983年6月 長崎大学医学部附属病院 研修医（内科学第一講座）
1985年3月 長崎大学医学部附属病院 研修医（内科学第一講座）修了
1985年4月 浜松医療センター 腎臓内科 医師（1986年6月30日まで）
1986年7月 田川市立病院 内科 医師（1987年10月31日まで）
1987年11月 長崎大学医学部附属病院第一内科（医員）（1988年6月30日まで）
1988年7月 放射線影響研究所、臨床研究部医師（1990年5月31日まで）
1990年6月 留学（Toronto University, Division of Immunology, Canada, Research fellow）
（1993年9月30日まで）
1993年9月 長崎大学医学部附属病院第一内科（医員）（1998年3月31日まで）
1998年4月 長崎大学医学部附属病院第一内科 助手（2001年3月31日まで）
2001年4月 長崎大学医学部附属病院第一内科 講師（2002年9月30日まで）
2002年10月 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科助教授（第一内科）
（2002年12月31日まで）
2003年1月 国立病院長崎医療センター臨床研究センター病因解析研究部長
2005年4月 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科分子免疫学講座 連携大学院教授
2016年8月 福島県立医科大学リウマチ膠原病内科教授

〈所属学会・資格〉

日本リウマチ学会 専門医、指導医、評議員
日本内科学会 認定内科専門医、指導医
日本臨床免疫学会 評議員
日本肝臓学会

〈受賞歴〉

2000年12月3日 第21回日本炎症学会奨励賞
2016年6月19日 平成28年度ノバルティス・リウマチ医学賞

【ランチョンセミナー2】

『SLEと自然免疫～補体やTLRの役割を中心に～』

せきね ひではる

関根 英治

福島県立医科大学 免疫学 教授

〈略歴〉

平成5年	福島県立医科大学医学部 卒業
	福島県立医科大学 第二内科（現・リウマチ膠原病内科） 入局
平成9年	福島県立医科大学大学院医学研究科 修了
平成11年	米国サウスカロライナ医科大学 リウマチ・免疫学部門 博士研究員
平成15年	福島県立医科大学 第二内科（現・リウマチ膠原病内科） 助手
平成17年	米国サウスカロライナ医科大学 リウマチ・免疫学部門 Assistant Professor
平成21年	福島県立医科大学 免疫学講座 講師
平成24年	福島県立医科大学 同教授

〈研究分野〉 補体学、膠原病学

1月21日（土） 12:10～13:10

【ランチョンセミナー2】

『エリテマトーデスの皮疹のみかた—新しい分類基準との関連で考える—』

つちだ てつや

土田 哲也

埼玉医科大学

皮膚科 教授

〈略歴〉

昭和 53 年	東京大学医学部医学科卒業
昭和 54 年	東京大学医学部 皮膚科助手
昭和 58 年	米国 UCLA メディカルセンター postdoctoral fellow
昭和 60 年	東京大学医学部皮膚科講師
平成 7 年	埼玉医科大学 皮膚科助教授
平成 10 年	埼玉医科大学 皮膚科教授
平成 27 年	埼玉医科大学 副学長

スイーツセミナー

【スイーツセミナー1】

『皮膚血管炎での様々な問題点』

かみかみ たみひろ

川上 民裕

聖マリアンナ医科大学 皮膚科 准教授

〈略歴〉

1989年 千葉大学医学部医学科 卒業・研修医
1992年 東邦大学医学部皮膚科学第2講座 医員
1995年 アメリカ合衆国留学
1997年 東邦大学医学部皮膚科学第2講座 助手・医局長
2000年 聖マリアンナ医科大学皮膚科 助手・講師・助教授・准教授
2015年 聖マリアンナ医科大学遺伝診療部 副部長 兼任 現在に至る

〈所属学会・資格〉

日本血管病理研究会 世話人
厚生労働省 難治性血管炎に関する調査研究班 分担研究員
日本医療研究開発機構（AMED） 血管炎診療エビデンス構築の研究班 分担研究員
皮膚血管炎 国際治験（ARAMIS・SMART・CUTIS） 日本代表

〈受賞歴〉

2010年 第11回 日本研究皮膚科学会賞（JSID 賞） 受賞

【スイーツセミナー1】

『2012 revised CHCC の評価及び皮膚血管炎の診断と治療の展望について』

ちん かえい
陳 科榮

目黒陳皮膚科クリニック 院長

〈略歴〉

1985 年	慶應義塾大学医学部卒業
1989 年	同大学大学院（皮膚科学）修了 東京都済生会中央病院皮膚科勤務
1991 年～1993 年	米国メイヨークリニック皮膚科、Research Fellow
1996 年～2005 年	荻窪病院皮膚科、部長
2005 年～2015 年 3 月	東京都済生会中央病院皮膚科部長
2011 年～2013 年	北里大学医学部客員教授
2013 年 8 月～	台北医科大学皮膚科客員教授
2015 年 4 月	目黒陳皮膚科クリニック開設

〈所属学会・資格〉

国際皮膚病理学会（The International Society of Dermatopathology）
執行委員（Executive Committee）（2001 年～2003 年）
皮膚脈管膠原病研究会世話人（2007 年～）
東京血管炎研究会世話人（2012 年～2015 年）

〈専門〉

血管炎、皮膚病理

〈受賞歴〉

1993 年度 第 52 回米国皮膚科学会総会 Dermatology Foundation Fellowship Award（Roche Dermatologics Research Grant）

〈著書〉

皮膚血管炎（川名誠司、陳 科榮編），pp1-348，医学書院，2013.02

【スイーツセミナー2】

『炎症性疾患および免疫系の恒常性維持におけるIL-17の役割』

いやくら よういちろう

岩倉 洋一郎

埼玉医科大学

東京理科大学生命医科学研究所 ヒト疾患モデル研究センター
教授・センター長

〈学歴〉

1974年10月 京都大学大学院理学研究科化学専攻博士課程3年中退

1976年3月 京都大学理学博士

〈職歴〉

1974年11月 京都大学ウイルス研究所細胞ウイルス部助手

1978年9月～1980年8月 米国Sloan-Kettering Cancer Institute Associate Researcher

1985年10月 東京大学医科学研究所ウイルス感染研究部助教授

1992年11月 東京大学医科学研究所実験動物研究施設教授

1993年1月～1996年3月 東京大学医科学研究所実験動物研究施設長

1998年7月 東京大学医科学研究所ヒト疾患モデル研究センター細胞機能研究分野教授

2004年4月～2012年3月 東京大学医科学研究所ヒト疾患モデル研究センター長

（改組により2009年7月よりシステム疾患モデル研究センター長）

2012年4月～ 東京大学名誉教授

2012年4月～ 東京理科大学生命医科学研究所実験動物研究部門教授

2013年4月～ 東京理科大学生命医科学研究所ヒト疾患モデル研究センター長

現在に至る

〈賞罰〉

チバガイギーリウマチ賞（1992年5月）

日本リウマチ学会賞（授与団体：有限責任中間団体 日本リウマチ学会）（2009年4月）

安東・田嶋賞（授与団体：日本実験動物学会）（2012年5月）

野口英世記念医学賞（2015年11月）

Highly Cited Researchers（Thomson Reuters 社：2014年、2015年）

〈学会役員等〉

日本学術会議連携会員（2011～）

日本インターフェロン・サイトカイン学会幹事（1995～）、元会長（2002-2006）

国際インターフェロンサイトカイン学会 International Council Member（1995-2011）

日本実験動物学会理事（1994-2000、2006-2010）、2009年度総会長、評議員（2011～）

日本免疫学会評議員（2003～）

日本炎症・再生医療学会功労会員（2015～）

イブニングセミナー

【イブニングセミナー】

『膠原病研究会の、今までとこれから』

かんざき たもつ

神崎 保

鹿児島大学

名誉教授

〈略歴〉

1966 年 3 月	長崎大学医学部卒業
4 月	医師実地修練
1967 年 4 月	長崎大学大学院医学研究科（病理系・生化学）博士課程入学
1969 年 6 月	ハワイ クワキニ病院ローテーティングインターン
1970 年 6 月	ハワイ クィーン病院内科レジデント
1971 年 7 月	テネシー大学病院皮膚科レジデント
1972 年 2 月	長崎大学大学院医学研究科博士課程修了（医学博士）
1974 年 7 月	テネシー大学皮膚科 Research fellow
1975 年 7 月	〃 講師
1976 年 7 月	〃 助教授
	*この間、米国医師免許、皮膚科専門医、皮膚病理学専門医資格を取得
1978 年 7 月	北里大学医学部助教授
1986 年 4 月	名古屋市立大学医学部助教授
1992 年 12 月	鹿児島大学医学部教授
2006 年 3 月	鹿児島大学大学院 皮膚疾患学教授 定年退任
2006 年 4 月	鹿児島大学名誉教授
	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科非常勤講師（皮膚疾患学）
	今村病院分院・皮膚科 非常勤医師（鹿児島市）

【イブニングセミナー】

『皮膚脈管膠原病研究会の存在意義を考える』

にしおか きよし

西岡 清

東京医科歯科大学 名誉教授

〈略歴〉

1964 年	大阪大学医学部卒業
1969 年	大阪大学大学院医学研究科終了
1970～72 年	ロンドン大学皮膚病研究所(St. John' s Hospital for Disease of the Skin) 研究員
1972 年	関西医科大学皮膚科講師
1978 年	大阪大学医学部皮膚科講師
1986 年	北里大学医学部皮膚科助教授
1990 年	東京医科歯科大学教授 皮膚科学担当
1998 年	東京医科歯科大学医学部医学科長
2001 年	東京医科歯科大学医学部附属病院 病院長
2002 年	全国医学部長病院長会議会長
2003 年	中医協基本問題小委員会 DPC 評価分科会長
2004 年	東京医科歯科大学 名誉教授、横浜赤十字病院 院長
2005 年	横浜市立みなと赤十字病院 院長
2010 年	横浜市立みなと赤十字病院 名誉院長
2011 年	大阪警察病院皮膚科顧問、兵庫医科大学理事
2016 年	兵庫医科大学常務理事にて現在に至る

